

嚮陽会館複合交流施設整備

実施設計の概要



図1 外観イメージ

令和8年4月

鯖江市

目 次

1	施設計画概要	1
	(1) 施設整備の概要	
	(2) 立地環境・景観計画	
	(3) 外構計画	
	(4) 施設の特徴	
2	建築計画概要	3
	(1) 部門配置図	
	(2) 平面計画	
3	構造計画概要	8
	(1) 構造設計の方針	
	(2) 構造計画の特色	
4	設備計画概要	8
	(1) 電気設備計画の特色	
	(2) 機械設備計画の特色	
5	事業スケジュール	8

建物概要／設備概要	9
-----------	---

※本概要書の内容については、計画を進めていく中で
変更となる可能性があります。
また、各部屋の名称についてはいずれも仮称です。

1 施設計画概要

(1) 施設整備の概要

本施設は、「子どもとともに多様な人々が集い、新たな感動や交流を共に創り育む賑わい拠点づくり」をコンセプトに、市民活動・交流機能、全天候型の子どもの遊び場機能、ホール・文化展示機能を備えた複合交流施設として整備します。

西山公園に隣接する市内中心部という立地を生かし、子どもから高齢者まで幅広い世代が気軽に集い、交流し、新たなつながりや活動が生まれる場を創出します。また、多様な人々が日常的に関わり合うことで、新たな感動や賑わいが生まれ、市民生活のさらなる充実につながることが期待されます。さらに、西山公園や道の駅、周辺商業施設との連携により、エリア全体の魅力向上と回遊性の強化を図り、交流人口の拡大や地域活性化につなげます。

本施設は、鯖江市が目指す「育てやすい 暮らしやすいまちづくり」と「みんな輝く 市民活躍のまちづくり」を実現するための新たな拠点です。子どもを中心に、多様な世代や立場の人々が出会い、交流しながら、新たなつながりや活動が生まれ、みんなが気軽に集える場所として整備を進めます。

(2) 立地環境・景観計画

嚮陽会館は、鯖武盆地の中央に位置し、西山公園に隣接する自然豊かな環境にあります。本計画では、この恵まれた立地を活かし、周辺景観と調和した開放的で魅力ある外構空間を整備します。

外構空間の中心には芝生広場を配置し、子どもたちがのびのびと遊び、市民が思い思いにくつろぎ、交流できる憩いの場を創出します。また、施設を訪れた人々が四季折々の自然や西山公園の豊かな緑を身近に感じながら快適に過ごせるよう、緑地や広場、歩行空間を一体的に整備し、心地よい景観の形成を図ります。

さらに、多世代交流の拠点となる嚮陽会館を起点として、屋内外の交流空間や芝生広場、西山公園、道の駅など周辺施設とのつながりを高めるとともに、人の流れや賑わいを鯖江のまち全体へ広げていきます。施設を訪れることがまちを巡るきっかけとなり、地域の魅力や交流が市内各所へ波及することで、嚮陽会館を起点とした回遊性の高いまちづくりと、鯖江市らしい魅力ある景観の創出を目指します。

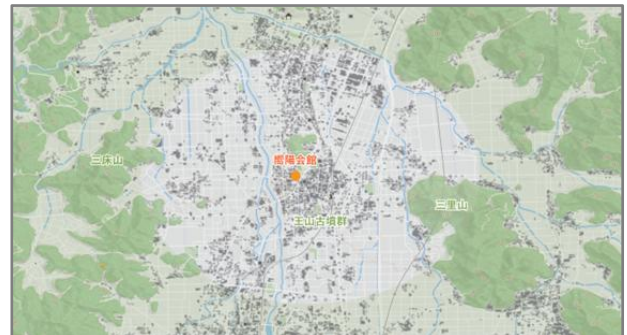


図2 広域図

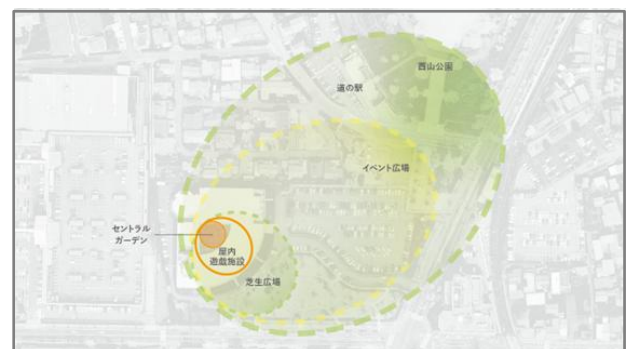


図3 付近見取り図

(3) 外構計画

施設の出入口と芝生広場をつなぎ、建物の内外を自由に行き来しながら楽しめる回遊しやすい空間を整備します。芝生広場の周囲には築山を配置し、車が通る場所と子どもの遊び場をゆるやかに区切ることで、安全性に配慮した屋外空間を整備します。

保護者が安心して子どもを遊ばせることができる環境づくりを進めます。

また芝生広場には、乳幼児から障がいのある子どもまで、誰もが一緒に楽しめるインクルーシブ遊具を設置します。屋内の遊び場だけでなく屋外にも多様な遊びの場を設けることで、年齢や身体状況にかかわらず、子どもたちが安心して過ごし、交流できる環境を整備します。



図4 外構計画図

(4) 施設の特徴

嚮陽会館は、「文化」「遊びと学び」「市民活動」を通して、子どもから高齢者まで、多世代が自然につながる複合交流施設です。

子どもたちが思いきり遊ぶことができる遊び場をはじめ、文化やさまざまな体験に触れられる空間、市民活動の拠点を一体的に整備します。施設で生まれる多様な活動や体験、人々のつながりを、嚮陽会館から鯖江のまち全体へ広げていきます。

市民一人ひとりが主役となり、新しい文化や市民活動が育まれるとともに、人と人、人と地域をつなぐ拠点として、市民に親しまれ、鯖江市の新たなシンボルとなる施設を目指します。

◇こどもの遊び場

こどもの遊び場には、「メガネマウンテン」と「ラビリンスタワー」の2つの大型遊具を設置します。鯖江市の主要産業であるメガネや、自然豊かな山々をモチーフにした遊具を取り入れ、鯖江ならではの魅力を遊びの中で感じられる、ここにしかない遊び場を目指します。

遊びの空間はセントラルガーデンへと広がり、多様な遊びや体験を楽しめる構成としています。子どもたちは思いきり身体を動かしながら遊び、遊びや体験を通して、鯖江の魅力や自然、ものづくりの文化に親しむことができます。

また、ベビーカー置き場や保護者が子どもを見守りながらゆったりと過ごせるスペースを配置し、子どもから大人まで安心して快適に利用できる環境を整えます。

◇みんなのホール

展示会や講演会、演奏会、ワークショップなど、さまざまな催しに利用できる、最大500人が利用可能なホールです。

固定の客席やステージを設けず、用途に応じて自由にレイアウトを変更できるため、多様なイベントに対応できます。また、災害時には避難所として活用できるほか、新たに楽屋・控室を整備し、利便性を高めます。

◇みんなのスペース

2階には、市民活動の拠点となる交流エリアを整備します。

誰でも自由に利用できるオープンスペースをはじめ、人数や目的に応じて利用できる会議室やブース席を設けます。また、市民活動を支える運営スペースも配置し、市民同士の交流や新たな活動が生まれる場を目指します。

◇セントラルガーデン

1階から3階までをゆるやかにつなぐスロープを備えた大きな吹き抜け空間です。高い位置に設けたガラスの開口部から自然光が降り注ぎ、市民が思い思いに過ごせる開放的な交流の場として計画します。日常的に子どもたちが自然と集まり、こどもの遊び場の延長として身体を動かしたり、思い思いの遊びを広げたりできる環境となることを想定しています。また、ホール機能や市民主役機能と連携し、子育て世帯向けイベント、市内児童絵画展示やワークショップなど多様な活動にも柔軟に対応できる、複合交流施設ならではの多目的空間として活用します。

2 建築計画概要

(1) 部門配置図

- ・ 嚮陽会館は、「文化」「遊びと学び」「市民活動」の機能を備えた複合交流施設です。それぞれの利用者が互いの活動を感じながらも、快適に過ごせる空間配置としています。
- ・ 1階のエントランス付近には総合受付を設け、施設管理スタッフが常駐します。遊び場やホール、喫茶スペースをはじめ、2階・3階への案内や利用者への対応を行い、安心して利用できる施設運営を行います。
- ・ 施設の中心には、1階から3階までをゆるやかにつなぐセントラルガーデンとスロープを整備します。また、南側エントランス付近には階段とエレベーターを配置し、子どもから高齢者まで、誰もが移動しやすい施設とします。
- ・ 2階には、市民活動交流エリアを中心に、会議室やホールなどを配置し、市民活動や文化活動、交流の場として幅広く利用できる空間を整備します。
- ・ 3階には、鯖江市のまちなみや周辺の自然を一望できる屋上エリアを整備し、憩いや交流の場として活用します。

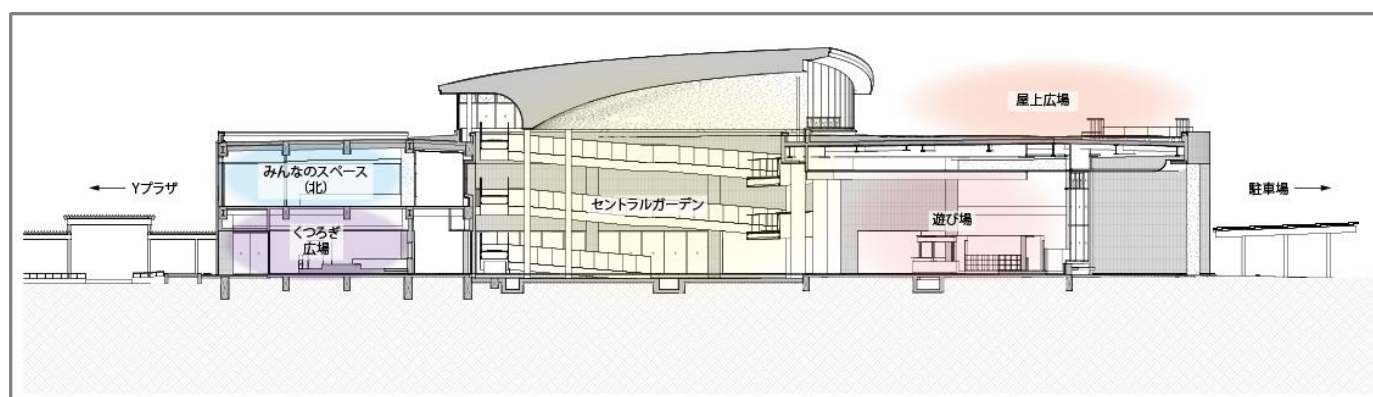


図5 断面イメージ図

(2) 平面計画

1 階

前面広場、こどもの遊び場、セントラルガーデン、ホール等
が一体的に計画されたエリア

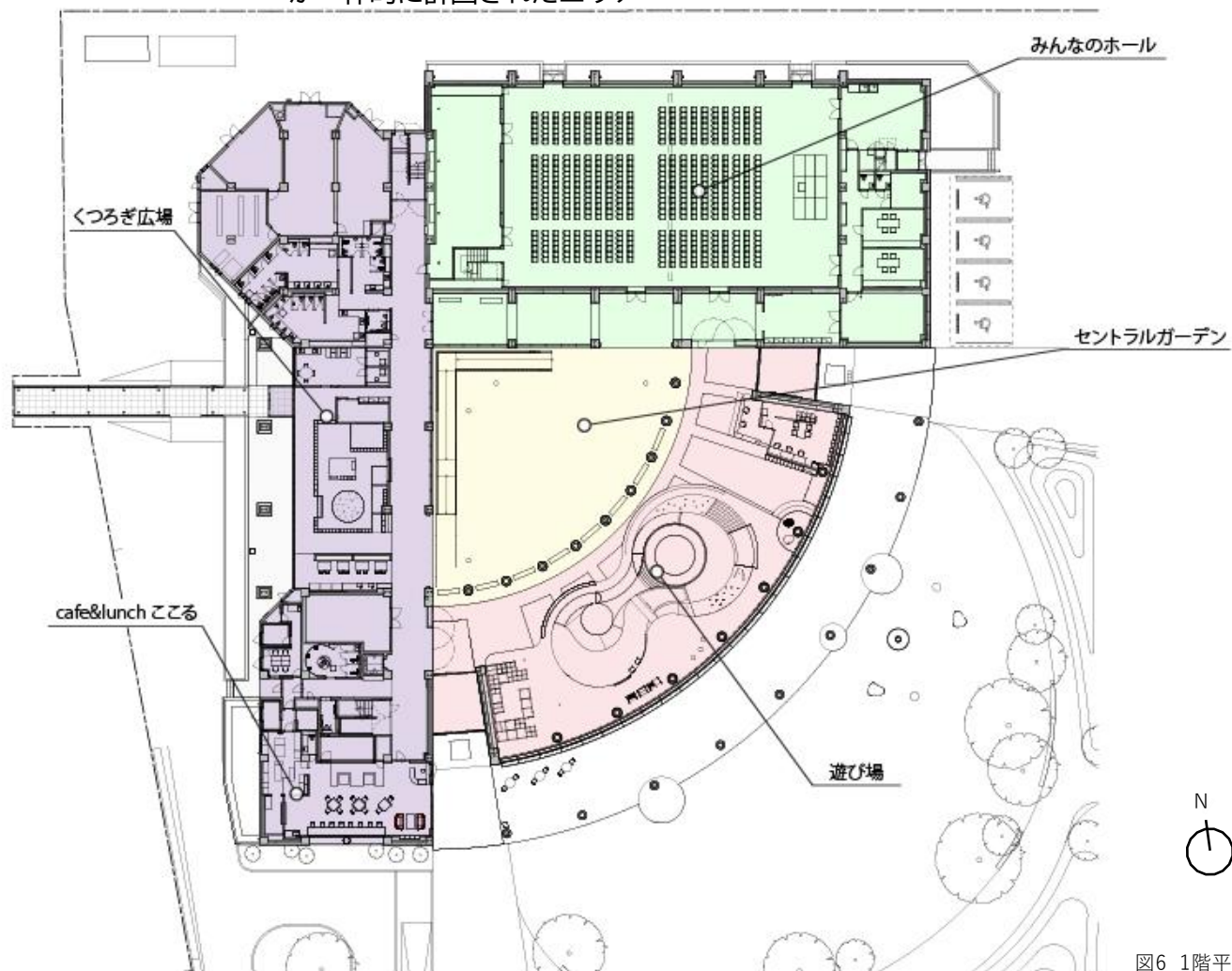


図6 1階平面図



図7 セントラルガーデンイメージ



図8 遊び場イメージ



図9 ホールイメージ

2階 市民活動交流スペース、会議室、ホール2階席、スロープなどが設置された 利用しやすい空間

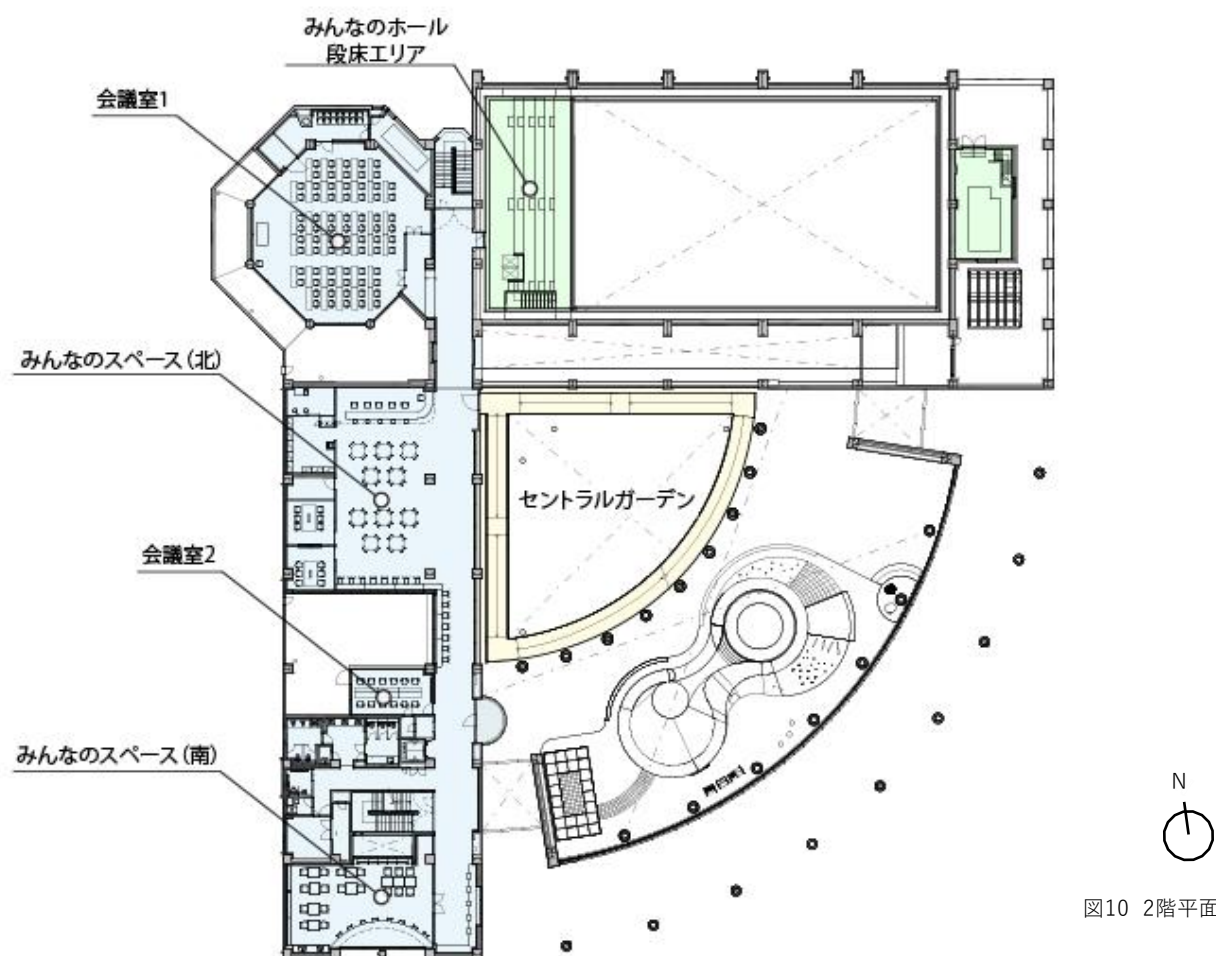


図10 2階平面図



図11 みんなのスペースイメージ

3階

西山公園や王山古墳群をはじめとした鯖江市内を一望することができる屋上エリア

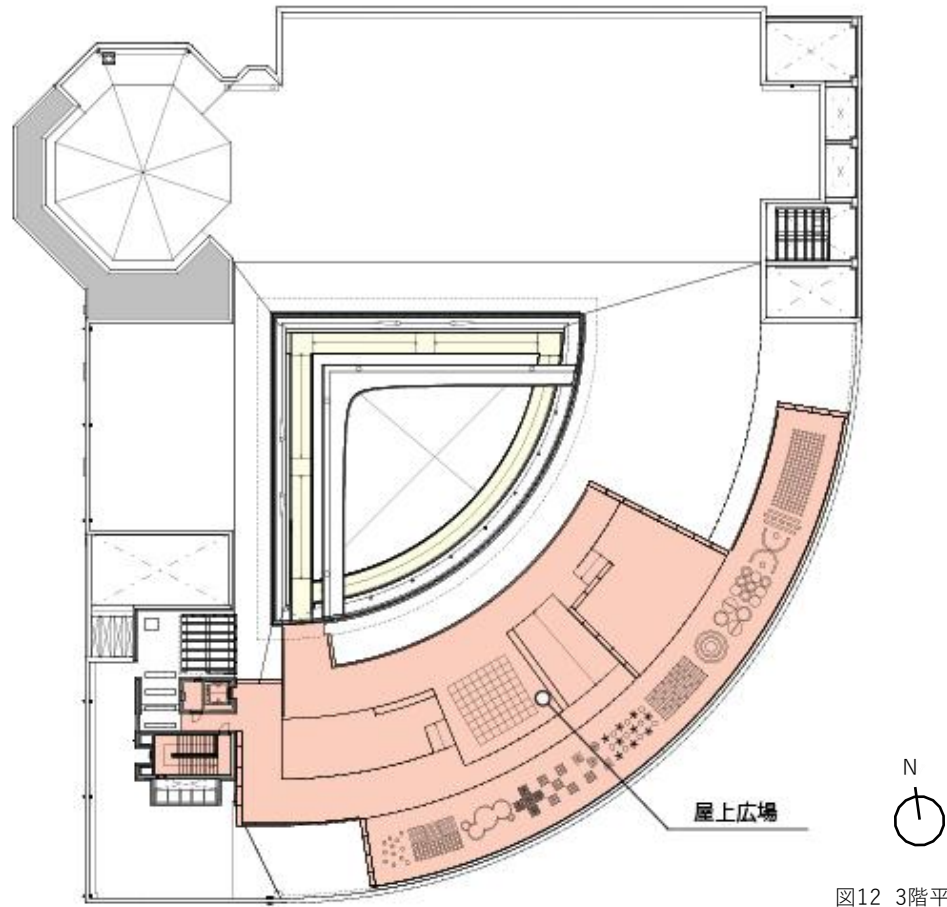


図12 3階平面図



図13 屋上イメージ

3 構造計画概要

(1) 構造設計の方針

本計画は、既存の2階建て建物を有効活用し、中庭部分に大屋根を架けることで屋内空間として整備する計画です。

増築する大屋根は、積雪荷重や既存建物への負担を考慮し、軽量かつ高い強度を有する鉄骨造を採用します。

既存建物については、改修後に必要な耐震性能を確保するため、耐力壁の増設や壁の補強、開口部の閉鎖など、構造補強を適切に実施します。

(2) 構造計画の特色

① 耐震性能

建物の用途や規模を踏まえ、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に定める耐震安全性Ⅲ類相当以上の性能を確保します。

また、非構造部材や建築設備の損傷を低減するため、地震時の層間変形角は1/200以下とします。

② 耐風性能

建築基準法および関係法令に基づき、50年に一度程度発生する強風に対して十分な安全性を確保する構造とします。

③ 耐久性能

建物の計画供用期間を通じて必要な耐久性を確保するとともに、維持管理性にも配慮した構造計画とします。

4 設備計画概要

(1) 電気設備計画の特色

① 照明設備

無線調光システムを採用し、照度センサーによる昼光利用や時間帯に応じた自動調光・シーン制御を行うことで、省エネルギーと快適性を両立します。

② 非常用発電設備

非常用発電機を設置し、災害等による停電時においても、施設機能を維持できるよう約72時間の電力供給を可能とします。

(2) 機械設備計画の特色

① 空調設備

2050年カーボンニュートラルの実現を見据え、省エネルギー性とCO₂排出量削減に配慮した高効率熱源システムを採用します。

吹抜けなど天井の高い空間には床吹出し空調方式を採用し、空調効率の向上を図ります。また、各室ごとに空調・換気を個別制御できるシステムとし、利用状況に応じた効率的な運転を行います。

② 給排水設備

節水型衛生器具を採用し、水資源の有効利用を図ります。

給水方式は受水槽加圧給水方式とし、受水槽は屋内に設置します。

既設設備については調査結果を踏まえ、状態が良好な大便器などは再利用することで、環境負荷の低減とコスト縮減を図ります。

5 事業スケジュール

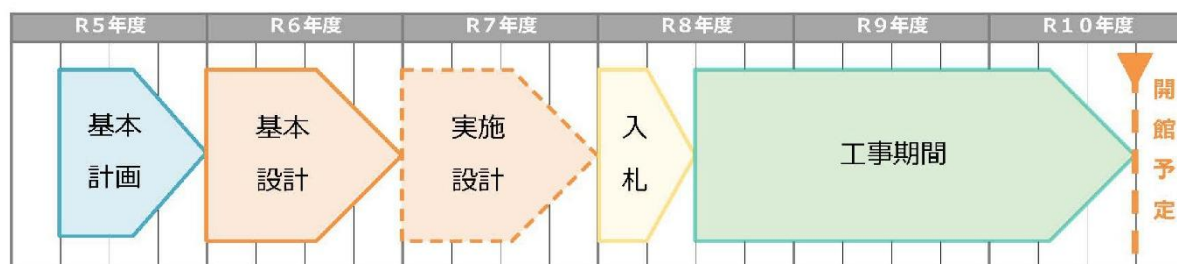


図14 ロードマップ

建物概要

名 称	嚮陽会館複合交流施設
発 注 者	鯖江市役所
建 築 場 所	福井県鯖江市桜町2丁目7-1
地 域 地 区	準工業地域（許容建蔽率60％／許容容積率200％）
用 途	屋内遊戯施設、ホール、NP0サポートセンター
敷 地 面 積	9,984.53㎡
建 築 面 積	4,366.69㎡
延 床 面 積	5,223.04㎡
階 数	地上3階
最 高 高 さ	14.98m
構 造	鉄筋コンクリート構造＋鉄骨鉄筋コンクリート構造＋一部鉄骨造(既存) ＋ 鉄骨造(増築)

設備概要

〈電気設備〉

受 電 方 式	高圧6.6kV 1回線受電方式
発 電 設 備	非常用ディーゼル式発電機、
弱 電 設 備	電話設備、通信設備、テレビ共聴設備、インターホン設備、呼出設備、映像音響設備
防 犯 設 備	機械警備設備(別途工事)、監視カメラ設備
防 災 設 備	非常照明設備、誘導灯設備、非常放送設備（業務兼用）、自動火災報知設備

〈空調設備〉

熱 源 設 備	電気空冷ヒートポンプパッケージ形空気調和機
空 調 設 備	パッケージ形空気調和機、床放射空調(一部)
換 気 設 備	第1種、第3種換気
排 煙 設 備	自然排煙、機械排煙(一部)
自動制御設備	集中コントローラ

〈衛生設備〉

給 水 設 備	加圧給水方式
給 湯 設 備	個別給湯方式
排 水 設 備都	（屋内）汚水・雑排水合流方式、（屋外）汚水、雨水分流方式
市ガス設備	プロパンガス
消 火 設 備	屋内消火栓、消火器等